

全自動コーヒーマシン

laRhea GRANDE2 premium

取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

目次

安全上のご注意	3
主な仕様	6
各部の名称	7
準備	9
メニューでの抽出方法	11
コーヒー豆やパウダーの補充方法	12
定期的なクリーニング	13
1. 毎日のクリーニング	13
2. 週1回のクリーニング	17
3. 月1回のクリーニング	22
4. 年1回のクリーニング	23
エラー表示	24
トラブルシューティング	26
消耗品について	26
保証とアフターサービスについて	27

-安全上のご注意

(安全に関する重要事項です必ずお読みください)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明

 **警告** この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。

 **注意** この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。

全般的な注意事項

警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。
修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。
(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本体を改造しないでください。 感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。
(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。
そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。
ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかす等が無く、十分に冷えていることを確認して行ってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。

注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。また、本体内部の水やコーヒー豆、コーヒーかす等を全て取り出し、洗浄を行ってください。

- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用はしないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



警告

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量の確認を行う等、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因となります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因となります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。



注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は5～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には0.8メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用する際は、浄水器の設置をお奨めします。硬度の高い環境でご使用の場合は、軟水装置を取り付け

ることをお奨めします。

- 純水や純度の高い水を使用しないでください。水位センサーが水位の検出ができず、漏水の原因になります。

操作を行なう時の注意事項



- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、キャニスター等の食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を使用してください。抽出中は、コーヒーマシンから十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- コーヒーマシンの作動中、コーヒー豆用ホッパーの中に手を入れないでください。怪我の原因になります。
- 抽出ライン（コーヒー/ミキサー/湯等）の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておく、系統内に残った抽出液等に細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。
- コーヒー豆用ホッパー及びパウダー用キャニスターは定期的に内部をよく清掃してください。放置しておく、雑菌が繁殖することがあります。
- ホッパー内にコーヒー豆及びパウダーが入っている状態でホッパーを取り外す時には、手順に従って取り外してください。無理矢理外そうとしますとホッパーが破損します。
- 前面パネルのクリアー部分（アクリル製）にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行ってください。
- 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。

主な仕様

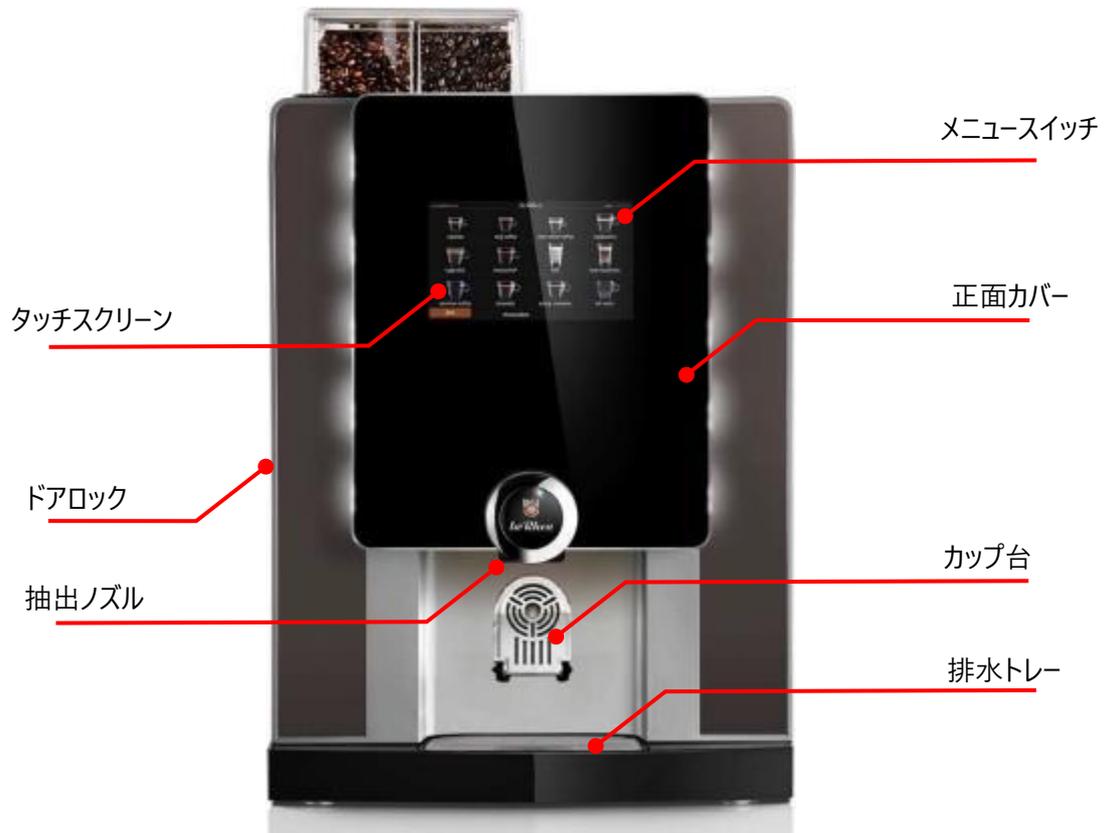
項目	仕様
幅	422 mm
高さ	666 mm
奥行き	599 mm
重量[非満水時]	37.9 kg
コーヒー抽出ユニット数	1
グラインダー数	2
コーヒー豆用キャニスター数	2
パウダー用キャニスター ※粒度によって重量に差があります	小キャニスター（幅 55mm / 約 0.8 kg） 大キャニスター（幅 110mm / 約 1.6 kg）
パウダー用キャニスター構成	小キャニスター×3 又は、小キャニスター×1 + 大キャニスター×1
ミキサー	2
給湯抽出口	1
1回のコーヒー豆の量 ※挽いた豆の粒度によって異なります	8～14g
コーヒー豆用キャニスター容量	各 0.8kg
メニュー数	最大 48（1画面あたり 8 又は 12）
排水トレイ容量（エラー表示容量）	750ml
ポンプ	内蔵式 バイブレーションポンプ
電気容量/電流（KW/A）	2.7 KW / 13.5 A
使用電源	200V ±10% 50 / 60 Hz
電源コード	約 1.8m
水道圧	0.1～0.5 メガパスカル(MPa)
給水接続方法	15A バルブ止め
水硬度	50 以下（ppm）
タッチスクリーン	7 インチ（1024 x 600pixel）
使用温度・保管温度	5 - 35 °C
使用湿度	80% 以下

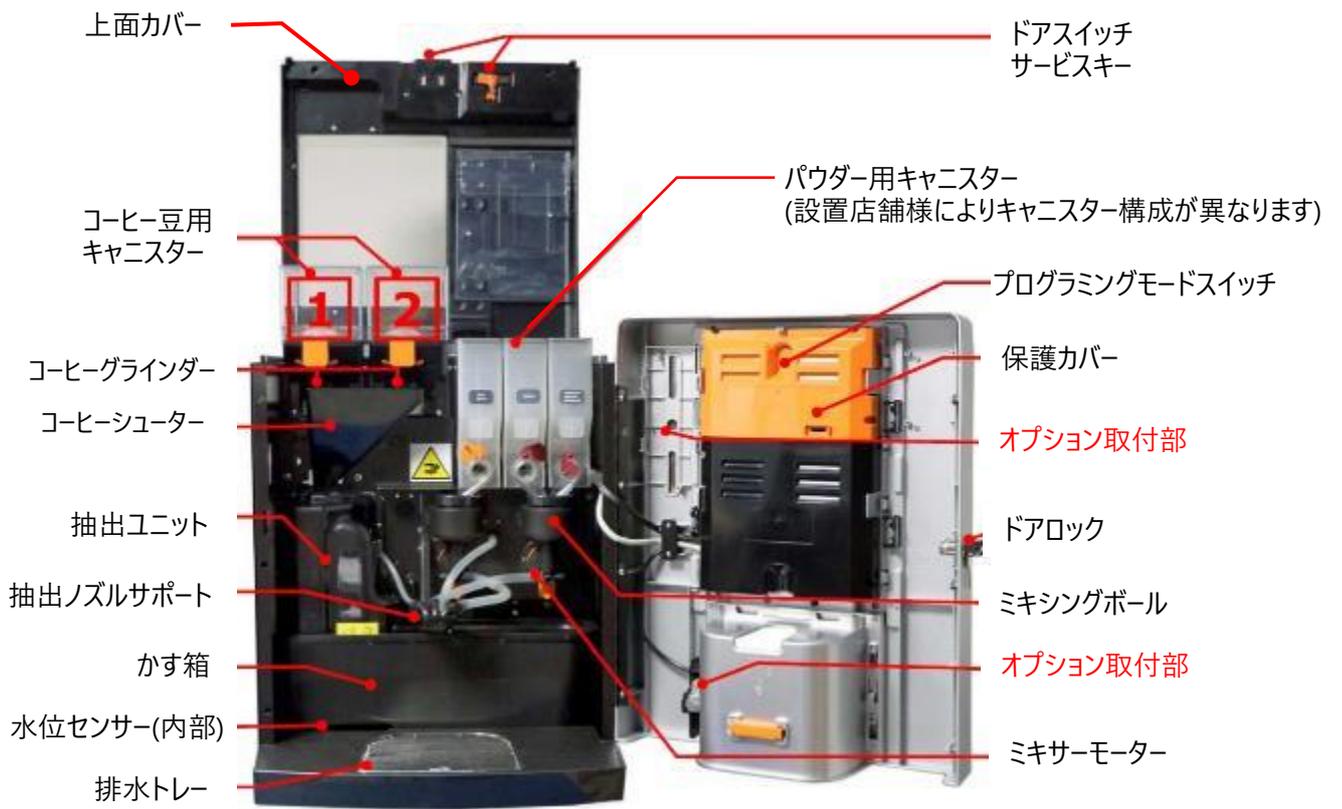
（注）凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。

（注）お湯では無く必ず水を給水してください。

（注）水以外の飲料（例えばミルクなど）やミネラルウォーター類、純水や純度の高い水は使用しないでください。

各部の名称





※コーヒーシューターとシューターカバー

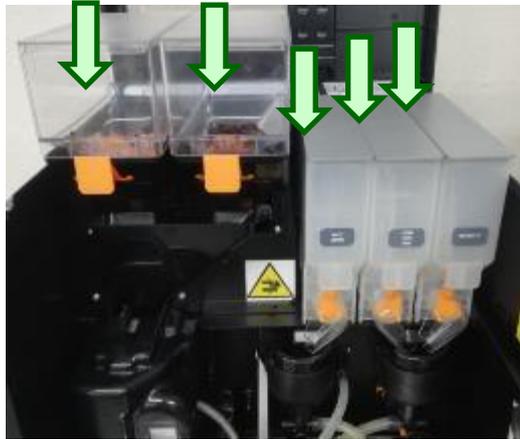


コーヒーシューターカバー

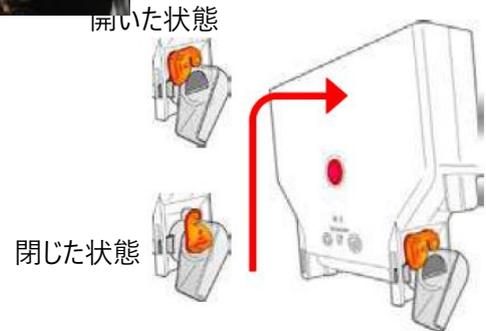


準備

1. 給水インレットに水道からのチューブを接続し、給水栓を開いてください。
2. ドアロックを解除し、正面カバーを開けて、コーヒー豆やパウダーがキャニスターに十分入っているか、確認をします。



3. パウダー用キャニスターの取り付け取り外し
オレンジ色の蓋を回転させて蓋を閉じ、上に持ち上げることで取り外しができます。取り付けの際は逆の手順で行います。



4. カップ台の取り付け取り外し
ドアを開け、オレンジ色のロックを取り外します。2個のラッチ部分をつまみ、押し込む事でカップ台を取り外すことができます。取り付けは逆の手順で行います。



5. かす箱および排水トレイが空であることを確認します。
かす箱はドリフトレーを引き出し、右側を手前に引くと取り外すことができます。



6. 前項 5 まで確認後、正面扉を閉じドアロックを行った後、マシン後部の主電源スイッチを入れてください。



スクリーン画面にマシンのバージョン情報が表示します。次に

① スクリーンに RESET のアイコンと下側に『リセット コーヒー コーヒーカス=リセット』の標記されます。

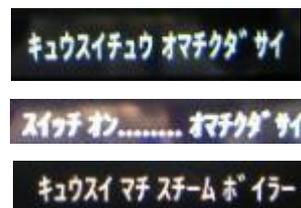
スクリーンイメージ



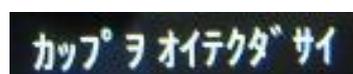
- ・コーヒーカスをリセットする場合：RESET アイコンを押すと、コーヒーカスのカウンターをリセットします。
- ・コーヒーカスリセットしない場合：RESET アイコンを押さずに一定時間（約 7 秒）経つと次の工程に切り替わります。

※上記スクリーンの標記は、前面ドアを開け閉めした時に必ず標記しますのでコーヒーカスの廃棄時には必ずリセットを押してください。

下側に[スイッチオン.....オマチクダサイ] [キュウスイチュウ オマチクダサイ] [キュウスイマチ スチームボイラー] の表示が出ます。



7. 抽出可能になると、[マシンジュンピカンリョウ] [カップヲオイトクダサイ] のメッセージが表示されます。



メニューでの抽出方法

1. 抽出ノズルの下に、カップを置いてください。
背の低いカップの場合は、カップ台を使用してください。
2. 希望するメニューをタッチしてください。 ※メニュー数によって、メニュー画面の数が変わります。
3. 抽出が終了すると、カップ付近の LED が点滅し、[カップヲオトリクダサイ] の表示が出ます。



1 ページに表示するメニュー数	メニュー画面 1 ページ目	メニュー画面 2 ページ目
12 メニューの場合		
8 メニューの場合		

※設置店舗様の設定によりメニュー数が異なります。

コーヒー豆やパウダーの補充方法

1. ドアロックを解除して、正面カバーを開き、上面カバーを上を開けます。
2. キャニスターの蓋を開け、コーヒー豆やパウダーを補充してください。



コーヒー豆用キャニスター



パウダー用キャニスター



パウダーの残量が少ないと、同じメニューでの供給量が大きく変化する場合があります。
パウダーが減ったら追加することをお勧めします。
常に新鮮な状態で提供していただくために、おおよそ1日の消費量を補充することをお勧めします。

※マシンを長時間使用すると、コーヒーに含まれる油脂成分等でコーヒー豆用キャニスターの内側が汚れてきます。そのままにすると豆の劣化、コーヒーの香りが悪くなる原因となります。
コーヒー豆補充前や、キャニスター内側が汚れる毎に、キャニスター内側を、乾いた清潔なクロスやペーパータオルなどで、乾拭きしてください。

 (洗剤を使用しての清掃や水拭きは厳禁です)

定期的なクリーニング

1. 毎日のクリーニング

1日の運転終了時等、1日に1回清掃する内容です。

(1) パウダーシューターの清掃

<1> ドアロックを解除して、正面カバーを開けてください。



<2> パウダー用キャニスターの出口蓋を閉じてください。



<3> ブラシを使い、パウダーシューター付近に付着しているパウダーを取り除いてください。

付着したパウダーが取りにくいときは、キャニスターを取り外し洗浄してください。

※「月1回のクリーニング」を参照

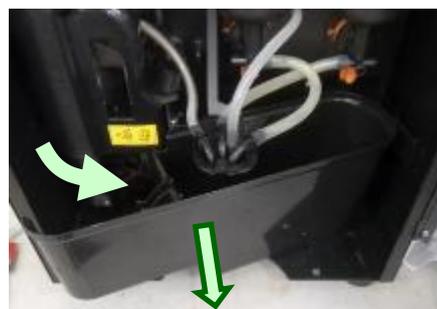


(2) 排水トレイの排水とかす箱のかすの廃棄

<1> 排水トレイを手前に引き出し、中の水を全て排水してください。



<2> かす箱を取り出します。左側を手前に移動した後、かす箱を取り出し、中のかすを廃棄してください



※かす箱や抽出ユニット周辺に豆粉が落ちている場合は掃除をしてください。

(3) タブレットを使った抽出ユニットの洗浄

! 洗浄動作中はマシンから十分離れてください。抽出口から湯が勢いよく出る場合があります。

<1>抽出ノズルサポートに取り付けられている「抽出ユニットからのチューブ」を取り外してください。



<2>抽出ユニットのカバーの左右を軽く内側に押さえると引っ掛けから外れ、カバーが手前に取り外せます。



<3>チューブに注意をしながら、抽出ユニットのカバーを取り外し、再度チューブのみをノズルサポートに取り付けます。



<4>かす箱とトレーをセットします。



<5>サービスキーをドアスイッチ用穴に挿入し、90度回転させて固定し、通电してください。



<6>そのまま上面カバーを上を開き、1Lカップをトレーの上においてください



<7>抽出待機状態になったら、正面扉後のプログラミングモードスイッチを押す。



<8>スクリーン画面に以下の表示が出ます。

メニュー選択

B3	B7	B8
B6	B1	B4 [+]
B2	B5 [-]	B9
		B10
		Manual online

1=プログラミング* 2=データ 3=テスト

4=リンス - クリーニング* 5=メンテナンス 6=エラー

<9> [4]をタッチしクリーニングを選択すると、以下の表示が順次表示されるので、指示に従いタッチする。

排水トレイを空にする **ハイストレイ カラ? 10=スタート**

水を接続する **ウォーター OK? 10=スタート**

何を行うか選択 **リンス クリーニング 1-4 5=ミルク Mod. 8=hc.**

[1]はコーヒー抽出部
[2]と[3]はミキシングボール部
[4]は給湯ノズル
[5]カプチャーノジュール(使用している場合)
[8]洗浄剤を使つての清掃

通常は[8]をタッチして hc を選んでください。

<10>以下のメニューが順次表示されるので、メニューに従い作業します。タブレット トウニユウが表示されたら下記の手順に従い清掃を行って、クリーニングタブレットを投入してください。

- ①抽出ユニット上ピストン底部のフィルターをペーパータオルや布巾等で拭きます。
- ②ユニットの開口部に洗浄用のタブレットを1つ投入してください。投入後[10]をタッチします。

クリーニング開始

クリーニング アクティブ

この表示が出たら①、②の作業を行ってください

タブレット トウニユウ オス P10=スタート

抽出ユニット



<11>タブレット投入後、約5分ほど自動的にクリーニングを行います。

オマチクダサイ

タブレットが溶けるのを待つ

センジ ヨウジ ユンビ 4:30 min 1:58

洗浄実施中

ブ リューワー クリーニング 6X +++++

<12>最後に下記メッセージが表示されるので、ボタン1を選択すると、ミキシングボウルなどの経路を洗浄して、クリーニングを終了させます。

Test water OK=B1 clean. repeat=B2

ボタン1を選択=項目をスキップ

ボタン2を選択=再度洗浄を行います

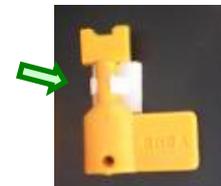
※この画面ではボタンを押さないと進みません。この画面のまま 40分以上経過するとマシンが自動的に再起動しクリーニングを最初から行います。

<13>クリーニングが終了すると画面がクリーニングのメニューに戻ります。クリーニングメニューでプログラムボタンを約5秒長押ししてください。すると、抽出待機画面に移行いたします。

リンス クリーニング 1-4 5=ミルク Mod. 8=hc.



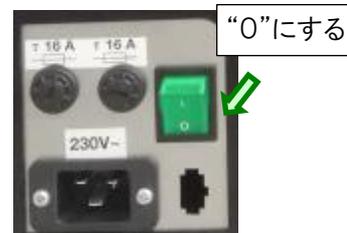
<14>抽出待機画面に戻ったら、カップに溜まったお湯を捨てて、サービスキーを外し、元の位置に戻します。併せて排水トレイとカス箱を外し、清掃してください。抽出ユニットカバーを<1>~<3>と逆の手順で取り付けたら、カス箱と排水トレイを元の位置に戻します。



<15>パウダー用キャニスター及び、コーヒー豆用キャニスターの口が開いていることを確認して上面カバーと正面カバーを閉じ、ドアロックします。



<16>営業を終了する際はメイン電源を切ってください。



(4) オプション排水トレーが装着されたマシンをお持ちのお客様へ



本クリーニング手順はオプション排水トレーが装着されたマシンをお持ちのお客様への内容になります。

<1>下記の様な ①清掃ブラシ、②お湯(適量)をご用意ください。

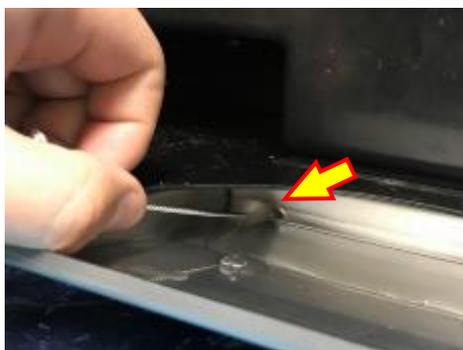


<2>排水トレーを外してください。オプション排水トレーにお湯を流して汚れを浮かせます。
※勢いよくお湯を注ぐと溢れることがあります。
ゆっくりとお湯を注いでください。



<3>ブラシでオプション排水トレーの隅や排水パイプ内を掃除して、汚れや詰まりを取り除いてください。

特に排水パイプが詰まると水が流れなくなるため、少しでも流れが悪いと感じた時には、すぐに排水パイプをブラシで清掃してください。



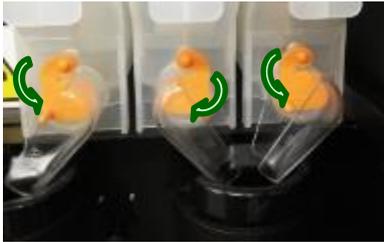
2. 週1回のクリーニング

※毎日のクリーニングの後に、抽出ユニット、ミキシングボール等の洗浄を行います。

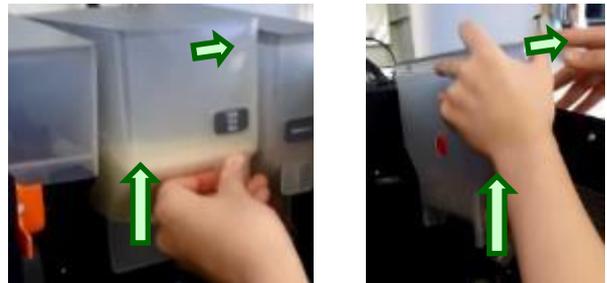
(1) 毎日のクリーニングを行ってください

(2) ミキシングボール部分の清掃

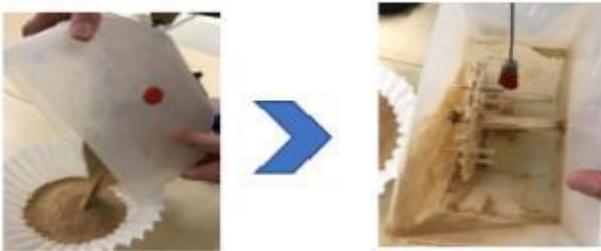
<1>毎日の『クリーニングの(2)』を行った状態にします。(排水トレイと、かす箱を外す)
併せて、パウダー用キャニスターの出口蓋を閉じ、キャニスターを外してください。



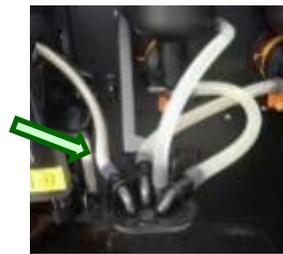
<2>3個のパウダーキャニスターを、軽く持ち上げてから、手前に引いて取り外してください。



<3>キャニスターを外し、内部のパウダーを清潔な袋等に移して、パウダー固着の清掃してください。



<4>抽出ノズルサポートから、抽出ノズル4本を取り外してください。



<5>ミキシングボールのオレンジ色の固定レバーを時計回りに約 30 度回して緩める。



<6>手前に引っ張り、取り外してください。



<7>ミキシングボールの洗浄。
ミキシングボールとカバーリングに分けて洗浄してください。
チューブの穴は、ブラシを使って洗浄してください。
パウダーが固まって取りにくいときは、温水に漬け置きし洗浄してください。
※ 食器洗浄機には入れないでください。



<8>エア吸引口の洗浄。溝の部分の汚れに注意して洗浄してください。(パウダー用キャニスターが外れていないと吸引口は抜けません)



<9>排水トレーの洗浄。汚れ具合によりスポンジ等を使い、蓋とトレーに分けて洗浄してください。



<10>カス箱の洗浄。
コーヒー豆のカス等を洗い流してください。



※かす箱中央部の部品(かす除け)が外れても問題ありません。向きを確認して、上からはめ込んでください。



↑ マシン奥側

↓ マシン手前側

<11>マシン内部の清掃。硬く絞った布で内部やミキサーを清掃してください。



<12>外したパーツ類を全て元に戻したら完了です。

(3) 抽出ユニットの清掃

＜1＞抽出ユニットのカバーの左右を軽く内側に押さえると、引っ掛かりから外れ、カバーが手前に取り外せます。



＜2＞チューブに注意をしながら、抽出ユニットのカバーを取り外してください。

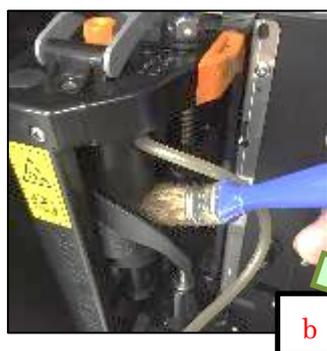


＜3＞抽出ユニットの清掃。

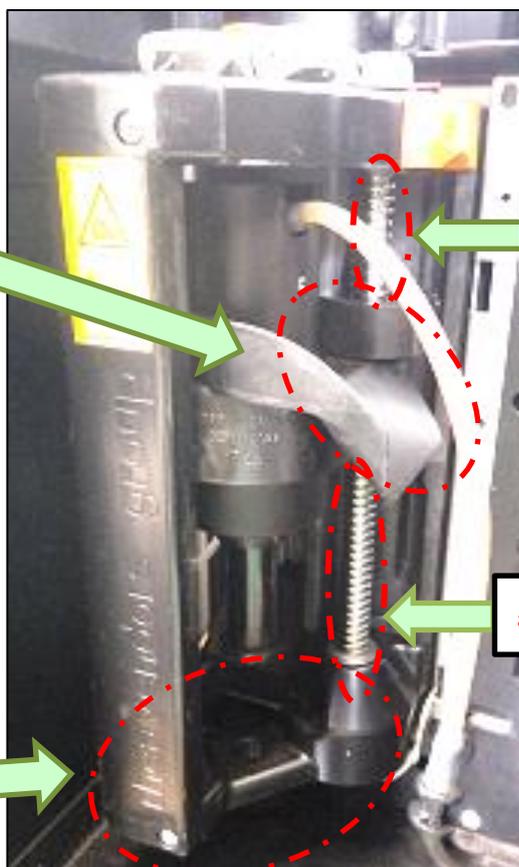
ハケやブラシを使って、汚れや付着したカスを落としてください。

特に、軸部(a)、カスのシューター部(b)、ユニット下部(c)、は丁寧に掃除してください。

※汚れやカスの固着が多いとエラーや故障の原因になります。

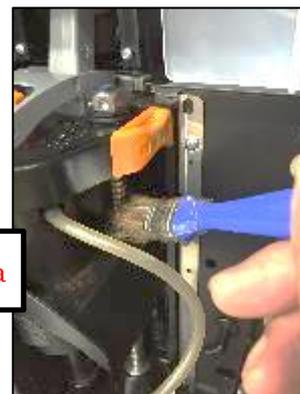


b



a

a



c



清掃が終わったら、逆の手順で各部品を取り付けてください。

なお、豆ホッパーは乾いたダスターで油分と汚れを拭きとってください。

(4) コーヒーシューターの清掃

コーヒーシューターはグラインダーで挽いた豆の粉を抽出ユニットまで運ぶ滑り台のようなものになっています。



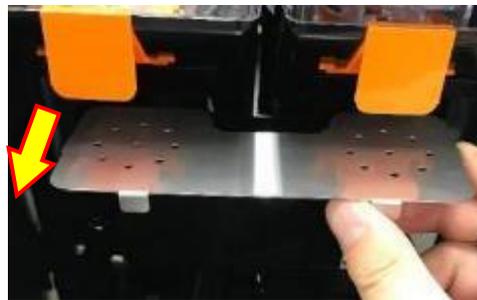
グラインダ部

コーヒーシューターカバー



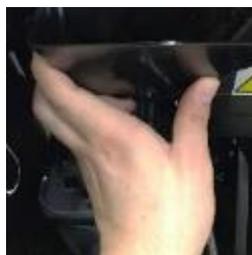
コーヒーシューター

<1>コーヒーシューターカバーを取り外します。左右の爪を持って少し上に持ち上げ、カバーを垂直に保ち手前に抜くように外してください。

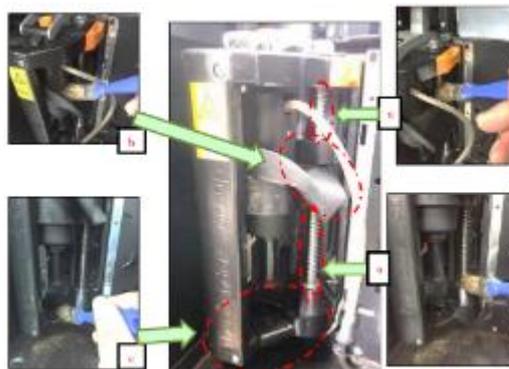


<2>コーヒーシューター内のコーヒー粉を取り除きます。コーヒーシューターに手を添えて、付属のブラシでシューター内を優しく掃いてください。

※挽いたコーヒー豆が通るシューターです。水分を含んだ布などでは清掃しないでください。水分が挽いたコーヒー豆に触れてしまいますと、シューターの詰まりの原因になります。

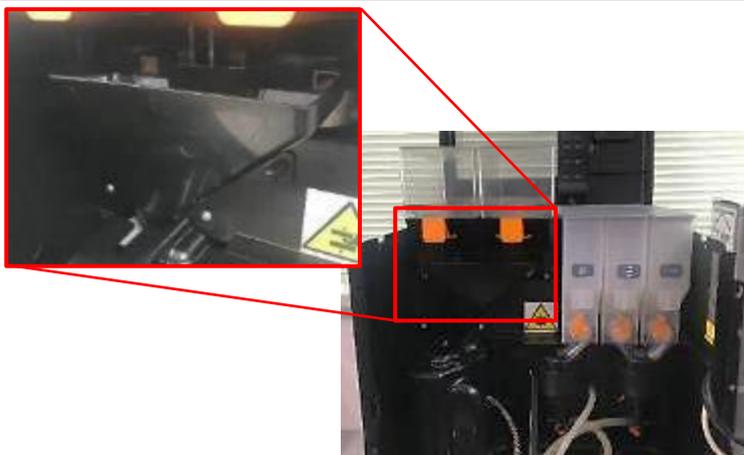


<3>シューター内のコーヒー豆を清掃いたしますと抽出ユニットの下部に掃いたコーヒーが落ちます。
抽出ユニットに溜まったコーヒーを清掃してください。
(取扱説明書 P19「抽出ユニットの清掃」に詳しい清掃方法が記載されています。)

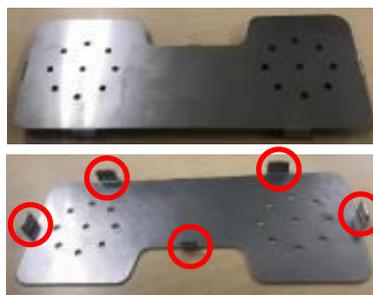


<4>抽出ユニットの清掃が終わりましたら抽出ユニットカバーとコーヒーシューターカバーを取り付け、カバーの清掃は完了です。コーヒーシューターに挽いていないコーヒー豆などの異物が入りますと詰まりや故障の原因となる恐れがありますので、コーヒーシューターカバーを取り付けることで詰まり等を防止いたします。

<5>コーヒーシューターカバーを取り付けます。前面扉と上面扉を開けてください。豆容器の下から抽出ユニットまで繋いでいる、黒い逆三角形のパーツがコーヒーシューターになっています。このシューターの上に被せて使用するカバーを取り付けます。



<6>コーヒーシューターカバーには爪が5つ付いており、その爪がシューターの淵を覆うように取り付けます。凹部の爪は、他4つの爪よりも短くなっています。



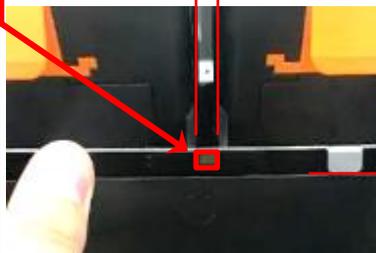
爪が5つあります。

覆うように被せます。

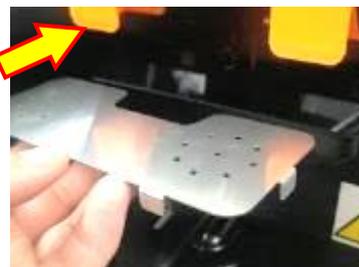


<7>取り付ける際は左右の爪を挟むように両手で持ちます。コーヒーシューターの上面に垂直に差し込み、コの字部分の爪を豆容器の中央に入れるように取り付けてください。奥の爪を掛けたら左右と手前の4か所の爪を掛けることで取り付けが完了いたします。

凹部分の爪を豆容器の間に入れるように差し込みます。



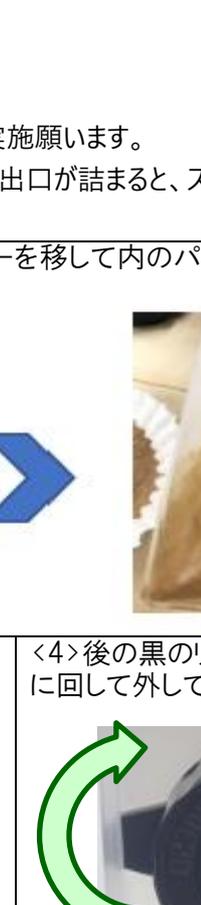
シューターの淵とカバーを垂直に差し込みます。



3. 月1回のクリーニング

※毎日のクリーニング、週1回のクリーニング後に、キャニスターの洗浄等を行います。

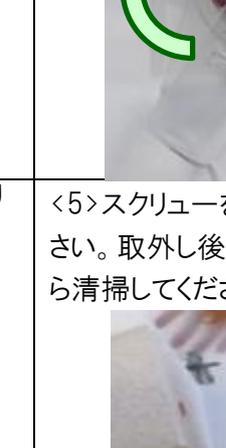
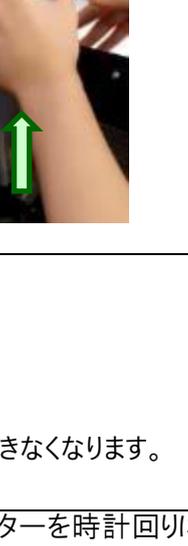
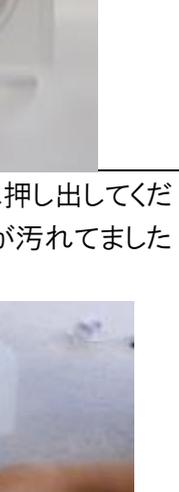
(1) パウダーキャニスターの取り外し

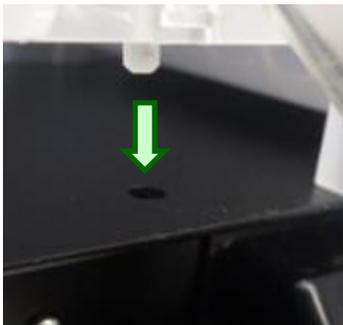
<p><1>ドアロックを解除して、正面カバーを開けてください。</p> 	<p><2>上面カバーを上を開けてください。</p> 
<p><3>パウダー用キャニスターの出口蓋を閉じてください。</p> 	<p><4>3個のパウダーキャニスターを、軽く持ち上げてから、手前に引いて取り外してください。</p> 

(2) パウダーキャニスターの分解及び清掃

※お客様の状態により以下の清掃を実施願います。

※容器にパウダーの入れ過ぎやパウダー出口が詰まると、スクリーンの位置がズれてしまい適切な送り出しができなくなります。

<p><1>容器を外した後、容器のパウダーを移して内のパウダー固着の清掃してください。</p> 	<p><2>パウダーシューターを時計回りに回して外してください。</p> 	
<p><3>パウダーシューターを外した際に下記の状態でしたら<4>へ</p> 	<p><4>後の黒のリングナットを時計回りに回して外してください。</p> 	<p><5>スクリーンを後ろに押し出してください。取外し後パーツが汚れてましたら清掃してください</p> 

<p><6> スクリューを後ろから差し込んでください。</p> 	<p><7> リングナットを反時計回りに回してスクリューを固定してください。</p> 	<p><8> パウダーシューターを反時計回りに回して固定してください。</p> 
<p><9> パウダーキャニスター組み立て完了後、蓋をした後、黒のリングナットをキャニスターモーターに挿入し、前面の穴にキャニスターの突起を差し込んでください。</p>  		<p><10> 最後に上カバーを閉じ、正面ドアを閉じてロックしてください。</p> 

4. 年1回のクリーニング

抽出ユニットの分解掃除、フィルターやOリングの交換等を行います。
作業はサービスマンが行いますので、弊社までお問い合わせください。

エラー表示

エラーコード	内容	対応方法
OFF 2	課金システム(コインメック付の場合)	
OFF 2 E OFF 2 M OFF 2 P	実行エラー コインメックエラー 通信エラー	コインメックと本体との通信エラー 弊社へご連絡ください
OFF 3	排水トレイ	
	排水トレイの水位が排水レベルに達した。	排水トレイの水を排水してください。
OFF 5	CPU基板	弊社へご連絡ください。
OFF 6	給水	
OFF 6 C OFF 6 D OFF 6 G	水タンクの給水時間が長い。 水の供給系に問題がある。 給水系に漏水の可能性が有る。	水道の元栓が開いているか、確認をしてください。 給水ホースの折れや潰れが無い、確認してください。 水漏れを起こしていないか、確認してください。 水圧が正常な場合、弊社へご連絡ください。
OFF 7	コーヒー系	
OFF 7 A OFF 7 C OFF 7 D OFF 7 R	ボイラーポンプ異常 抽出ユニットの動作異常 容量測定が正しくできない 水の循環異常	弊社へご連絡ください。
OFF 8	抽出ユニット	
OFF 8 A	抽出ユニットが、正しい位置にセットされていない。	抽出ユニットを取り付け直してください。
OFF 8 B	正しく認識しない	抽出ユニットの下部にコーヒー豆のかすが溜まっていたら、掃除をしてください。 グラインダーの挽いたコーヒー豆量が多く、抽出ユニットから溢れているようでしたら、挽目やグランド時間を調整してください。 不明な場合は、弊社へご連絡ください。
OFF 9	コーヒー豆	
	コーヒー豆用キャニスター	①コーヒー豆が無くなった状態です。キャニスターに付着して落下しない場合もあります。(蓋を開け、確認してください)コーヒー豆を補給してください。 ②コーヒーシューターにコーヒー豆詰まりが無い確認してください。(※)

※シューター部の清掃は P20 参照してください

エラーコード	内容	対応方法
OFF 10	データ読み出しエラー	弊社へご連絡ください
OFF 14	給水	
OFF 14 B	ボイラーへの給水エラー。	水圧の確認をしてください。 水漏れを起こしていないか、確認してください。 水圧が正常な場合、弊社へご連絡ください。
OFF 16	内部キーボードエラー	弊社へご連絡ください
OFF 17	キーボードエラー	弊社へご連絡ください
OFF 17A		
OFF 24	直流電源	
OFF 24 A OFF 24 B	24V 電源の異常	弊社へご連絡ください。
OFF 31	コーヒー用の水の温度	
OFF 31 A OFF 31 B OFF 31 C OFF 31 D OFF 31 H	ボイラーの温度異常、温度検出異常。	弊社へご連絡ください。
OFF 32	コーヒー抽出ユニットの温度	
OFF 32 A OFF 32 B OFF 32 C	温度エラー	弊社へご連絡ください。
OFF 42	コーヒー抽出ユニットのカウンター異常	弊社へご連絡ください。
OFF 43	抽出カウンターの異常	弊社へご連絡ください。
OFF 77	CPU基板	
	時計機能が正常に動作しない。	弊社へご連絡ください。
OFF 80	コインメックの異常(オプション取付時)	
OFF 80 4 OFF 80 6 OFF 80 7 OFF 80 8 OFF 80 C OFF 80 D	コインパイプセンサーエラー 認証エラー コインパイプ異常 データ読み出しエラー コイン詰まり コイン不良	弊社へご連絡ください。

<メッセージ表示について>

1. かす箱内のかすの廃棄タイミングの表示

- 設定した廃棄杯数の9杯前から [コーヒーカスヲハイキシテクダサイ] が表示されます。廃棄杯数に達すると、[カドウェイシコーヒーカスツパイ] が表示され、動作を停止します。表示が出たら正面カバーを開けて、かすを廃棄してください。
- 廃棄タイミングは、設定メニューで設定することができます。

前面ドアを閉めるとスクリーンに RESET のアイコンと下側に『リセット コーヒー コーヒーカス=リセット』の標記されます。

スクリーンイメージ



- ・コーヒーカスをリセットする場合：RESET アイコンを押すと、コーヒーカスのカウンターをリセットします。

トラブルシューティング

症状	確認項目
・電源が入らない。	① ブレーカーが落ちていないか確認してください。 ② 本体背面の電源スイッチがOFFになっていないか確認してください。 ③ コンセントが抜けていないか確認してください。 ④ 本体背面の電源インレットが抜けていないか確認してください。
・コーヒーを抽出する時： 1. 味がうすくなった。 2. コーヒーの出方が悪い。 3. 抽出湯量が減った。 4. コーヒーの泡立ちが悪い。	① マシンのクリーニングを行ってください。 ② ホッパー(豆の容器)の内部を清掃してください。 (コーヒー豆の脂が付着しますと、新鮮なコーヒー豆の劣化を早めます。内部に脂が付着しないように、ホッパー内部をペーパータオルで、こまめに拭いて下さい。)
・コーヒーの量が少ない	① マシンのクリーニングを行ってください。 ② コーヒー豆がホッパーに入っていますか？ ③ チューブが正しく接続されていますか？
・マシン下より水漏れ。	① 排水トレイがきちん挿入されているか確認してください。 ② ミキサーが正しく接続されていない可能性があります。 ミキサーを外して、再度セッティングし直してください。 ③ ミキサーのチューブ接続状態を確認してください。
・パウダーメニューの抽出量が少ない。 (味が薄い)	① パウダーがホッパーに十分に入っていますか？ ② ホッパーがマシンに正しくセッティングされていますか？ ③ ホッパー内の部品が正しくセットされていますか？ パウダーをホッパーから全て出して、中のスプリングがスムーズに回転するか確認してください。 ④ ミキサーが正しくセットされていますか？ ⑤ ミキサーのチューブ接続を確認してください。

消耗品について

主な消耗品として、以下の部品があります。

部品名称	備考
コーヒー豆用キャニスター、蓋、および付属品	
パウダー用キャニスター、蓋、および付属品	
グラインダーのカッター刃	
かす箱	
排水トレイ	
サービスキー	
抽出用チューブおよびノズル	
各種 O リング、ガスケット	
抽出ユニットのピストンおよびフィルター	
CPU 基板上のバッテリー (時計の時間保持用)	
ヒューズ	
抽出ユニット	

保障とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間: 365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| ●お名前 | ●商品名 リアベンドーズ社製 laRhea GRANDE2 premium |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書 (業務用マシン)	
型 名	リアベンドーズ社製 laRhea GRANDE2 premium
シリアル番号	
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※お客様	お 名 前
	住 所 〒 電話 ()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマチック保証サービス（以下「本保証」といいます。）は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマチックジャパン株式会社（以下「ブルーマチック」といいます）がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品（以下「本製品」といいます。）について、「保証サービス規程」（以下「本規程」といいます。）に定めるところに従い、無償修理（以下「保証修理」といいます。）を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で目つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障（以下「自然故障」といいます。）を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。（以下、この期間を「保証期間」といいます。）保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマチックより交換品（新品）が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。（以下、「上限金額」といいます。）なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマチックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行わず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合(事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。)

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由のない費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由のない費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマチックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。

修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマチックコールセンター（下記記載）に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマチックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマチックコールセンター、お客様の保証に関する保証登録情報（製品情報及び個人情報）の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書（必要情報が記載されております。）の保管・管理に十分ご注意ください。また、お客様より保証修理依頼をいただいた際には、お客様より保証修理依頼をいただいた旨をお知らせいたします。
2. ブルーマチックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご通知ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承りま

す。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。

6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その「利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）に

応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等）等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損害。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損害（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等）の外部要因事由に起因する故障及び損害。
6. 消耗品（浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損害。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損害。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態を確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害（外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損害。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損害。
21. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事変に起因する故障及び損害。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時まで発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22

メモ

メモ



ブルーマチックジャパン株式会社

本社:神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

大阪(営):大阪府大阪市西区阿波座 1-9-9

阿波座パークビル 5階

福岡(営):福岡県福岡市博多区豊 1-5-24 丸信ビル 108



310320